

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 平成27年11月4日

【四半期会計期間】 第36期第3四半期(自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)

【会社名】 サイバーコム株式会社

【英訳名】 Cyber Com CO., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 渡辺 剛喜

【本店の所在の場所】 宮城県仙台市青葉区一番町二丁目7番17号  
(上記は登記上の本店所在地であり、本社業務は下記  
「最寄りの連絡場所」において行っております。)

【電話番号】 (022)213-1856(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 経営管理部長 佐藤 文昭

【最寄りの連絡場所】 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川一丁目10番10号

【電話番号】 (045)312-3271(代表)

【事務連絡者氏名】 経営管理部 経理財務室長 兀下 恵子

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年2月14日に提出いたしました第36期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 【企業情報】

#### 第2 【事業の状況】

##### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

###### (1) 業績の状況

### 第4 【経理の状況】

#### 1 【四半期財務諸表】

##### 【注記事項】

(セグメント情報等)

##### 【セグメント情報】

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

### 第一部 【企業情報】

#### 第2 【事業の状況】

##### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

###### (1) 業績の状況

(省略)

(訂正前)

当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業は売上高42億92百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益5億97百万円(前年同期比0.02%減)となりました。

通信ソフトウェア開発は、ネットワーク構成をソフトウェアで動的に設定・変更できるSDN関連のシステム開発案件、LTE網やIPネットワーク網を支える伝送装置、ネットワーク監視システム、ルータ、スイッチの開発案件等を受注いたしました。制御ソフトウェア開発は、車載システム、半導体制御装置、工業用機械制御装置の開発案件等を中心に受注いたしました。また、業務ソフトウェア開発は、ECサイト構築、電子カルテ等の医療系、エネルギー関連のシステム開発案件、自治体向け業務システム開発案件等を受注いたしました。

(サービス事業)

サービス事業は売上高13億4百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益1億79百万円(前年同期比39.7%増)となりました。クラウド化やネットワーク網増強の潮流、BCP(事業継続計画)対策の需要拡大を受け、SIサービス(構築・保守・運用サービス)では、クラウド基盤の構築やデータセンターの運用案件、基地局、ネットワーク網の設計・評価案件等を受注いたしました。

また、「Cyber-SmartCTI」を中心とするプロダクトや「マイグレーションサービス」等の販売も拡大いたしました。

(訂正後)

当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業は売上高42億92百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益5億98百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

通信ソフトウェア開発は、ネットワーク構成をソフトウェアで動的に設定・変更できるSDN関連のシステム開発案件、LTE網やIPネットワーク網を支える伝送装置、ネットワーク監視システム、ルータ、スイッチの開発案件等を受注いたしました。制御ソフトウェア開発は、車載システム、半導体制御装置、工業用機械制御装置の開発案件等を中心に受注いたしました。また、業務ソフトウェア開発は、ECサイト構築、電子カルテ等の医療系、エネルギー関連のシステム開発案件、自治体向け業務システム開発案件等を受注いたしました。

(サービス事業)

サービス事業は売上高13億4百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益1億79百万円(前年同期比39.9%増)となりました。クラウド化やネットワーク網増強の潮流、BCP(事業継続計画)対策の需要拡大を受け、SIサービス(構築・保守・運用サービス)では、クラウド基盤の構築やデータセンターの運用案件、基地局、ネットワーク網の設計・評価案件等を受注いたしました。

また、「Cyber-SmartCTI」を中心とするプロダクトや「マイグレーションサービス」等の販売も拡大いたしました。

## 第4【経理の状況】

### 1【四半期財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

#### 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額(注)2
	ソフトウェア 開発事業	サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,292,389	1,304,325	5,596,714	-	5,596,714
計	4,292,389	1,304,325	5,596,714	-	5,596,714
セグメント利益	597,790	179,317	777,107	381,318	395,789

(注)1.セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

#### 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額(注)2
	ソフトウェア 開発事業	サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,292,389	1,304,325	5,596,714	-	5,596,714
計	4,292,389	1,304,325	5,596,714	-	5,596,714
セグメント利益	598,369	179,492	777,861	382,072	395,789

(注)1.セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。